病院評価指標（平成26～28年度）

	項目名	H26年度	H27年度	H28年度	単位	調査期間
1	高度医療評価制度・先進医療診療実施数	21	17	13	件	年間
	年度1年間の高度医療評価制度及び、先進医療診療の実施数です。					
2	手術室内での手術件数	8,188	8,413	8,608	件	年間
	手術室で行われた医科診療報酬点数表区分番号K920、K923、K924（輸血関連）以外の手術（医科診療報酬点数表2章第10部手術に記載された項目）の件数です。ただし複数術野の手術等、1手術で複数手術を行った場合は、合わせて1件とします。					
3	緊急時間外手術件数	345	331	377	件	年間
	緊急に行われた手術（医科診療報酬点数表区分番号K920、K923、K924（輸血関連）以外の手術）で、かつ時間外加算、深夜加算、休日加算を算定した手術件数です。あらかじめ計画された時間外手術は除きます。複数術野の手術等、1手術で複数手術を行った場合でも、同一日の複数手術は合わせて1件とします。					
4	手術技術度 D と E の手術件数	8,019	8,823	9,661	件	年間
	外科系学会社会保険委員会連合(外保連)「手術報酬に関する外保連試案（第8．3版）」において技術度D、E に指定されている手術の件数です。1手術で複数のK コードがある場合は、主たる手術のみの件数とします。					
5	手術全身麻酔件数	4,194	4,392	4,584	件	年間
	手術目的の全身麻酔の件数です。検査等における全身麻酔件数は除きます。					
6	重症入院患者の手術全身麻酔件数	562	470	569	件	年間
	医科診療報酬点数表における、「L008 マスク又は気管内挿管による閉鎖循環式全身麻酔（麻酔困難な患者）」の算定件数です。					
7	臓器移植件数（心臓・肝臓・小腸・肺・膵臓）	14	12	19	件	年間
	年度1年間の、心臓・肝臓・小腸・肺・膵臓の移植件数です。同時複数臓器移植の場合は1件として計上します。					
8	臓器移植件数（骨髄）	21	33	45	件	年間
	年度1年間の骨髄移植の件数です。自家移植を含みます。					
9	脳梗塞の早期リハビリテーション実施率	66.67	47.62	32.26	%	年間
	緊急入院した脳梗塞症例の早期リハビリテーション実施率（%）です。 分子：入院4日以内にリハビリテーションが開始された患者数です。 分母：最も医療資源を投入した病名が脳梗塞の患者で、発症から3日以内、且つ緊急入院した患者数です。院内発症した脳梗塞症例は含みません。3日以内退院と転帰が死亡である場合は除きます。再梗塞を含みます。					
10	急性心筋梗塞患者における入院当日もしくは翌日のアスピリン投与率	78.26	80.77	87.50	%	年間
	急性心筋梗塞患者における入院当日もしくは翌日のアスピリン投与率（%）です。 分子：入院翌日までにアスピリンが投与された患者数です。 分母：最も医療資源を投入した病名が急性心筋梗塞の患者で、且つ緊急入院した患者数、緊急入院に限ります。再梗塞を含みます。					
11	新生児のうち、出生時体重が 1500g 未満の数	38	37	39	人	年間
	自院における出生数です。死産は除きます。					
12	新生児特定集中治療室(NICU)実患者数	249	178	193	人	年間
	医科診療報酬点数表における、「A-302 新生児特定集中治療室管理料」及び「A-303 総合周産期特定集中治療室管理料2-新生児集中治療室管理料」を算定する新生児特定集中治療室(NICU)にて集中的に治療を行った実人数です。（延べ人数ではありません。）					
13	緊急帝王切開数	173	174	159	件	年間
	医科診療報酬点数表における、「K898 帝王切開術1-緊急帝王切開」または、入院2日以内に「K898 帝王切開術2-選択帝王切開」且つ「予定入院以外のもの」の算定件数です。分娩患者に対する割合などではなく実数として評価します。					
14	直線加速器による定位放射線治療患者数	29	30	28	人	年間
	医科診療報酬点数表における、「M001-3 直線加速器による定位放射線治療」の算定件数です。					
15	放射線科医が CT・MRI の 読影レポート作成を翌営業日までに終えた割合	87.43	84.05	91.09	%	年間
	平成28年度1年間の「翌営業日までに放射線科医が読影したレポート数」を「CT・MRI 検査実施件数」で除した割合（%）です。「放射線科医」とは医科診療報酬点数表の画像管理加算の要件に従い、経験10年以上、専ら画像診断に従事するものを指します。					
16	放射線科医が核医学検査の 読影レポート作成を翌営業日までに終えた割合	94.85	94.29	97.17	%	年間
	平成28年度1年間の「翌営業日までに放射線科医（及び、核医学診療科医）が読影したレポート数」を「核医学検査実施件数」で除した割合（%）です。「放射線科医」とは医科診療報酬点数表の画像管理加算の要件に従い、経験10年以上、専ら画像診断に従事するものを指します。					
17	病理組織診断件数	13,143	13,803	13,587	件	年間
	医科診療報酬点数表における、「N000 病理組織標本作製（T－M）」および「N003 術中迅速病理組織標本作製（T－M/OP）」の算定件数です。入院と外来の合計として、細胞診は含めません。					
18	術中迅速病理組織診断件数	914	1,066	1,015	件	年間
	医科診療報酬点数表における、「N003 術中迅速病理組織標本作製（T－M/OP）、N003-2術中迅速細胞診」の算定件数です。					
19	薬剤管理指導料算定件数	20,996	24,261	23,350	件	年間
	医科診療報酬点数表における、「B008 薬剤管理指導料（1）（2）」の算定件数です。					
20	外来でがん化学療法を行った延べ患者数	10,090	11,487	11,479	件	年間
	医科診療報酬点数表における、「第6部注射通則6 外来化学療法加算」の算定件数です。					
21	無菌製剤処理料算定件数	17,036	18,466	18,236	件	年間
	医科診療報酬点数表における、「G020 無菌製剤処理料（1）（2）」の算定件数です。入院診療と外来診療の合計です。					
22	褥瘡発生率	0.36	0.49	0.44	%	年間
	1年あたりの褥瘡発生率（入院してから新しく褥瘡を作った患者数の比率（%））です。					

23-1	手術あり肺血栓塞栓症予防対策実施率	93.48	93.03	94.24	%	年間
	肺塞栓症リスクの高い患者に対する、予防対策の実施割合です。					
23-2	手術あり患者の肺塞栓症の発生率	0.11	0.20	0.47	%	年間
	肺塞栓症リスクの高い患者に対する、肺塞栓症の発生率（%）です。					
24	多剤耐性緑膿菌(MDRP)による　院内感染症発生患者数	0	1	1	件	年間
	年度１年間の新規MDRP 発生患者数です。保菌者による持ち込み感染は除き、入院3日目以降に発生したものを計上します。					
25	CPC（臨床病理検討会）の検討症例率	4.74	5.62	4.14	件	年間
	平成２８年度１年間のCPC（臨床病理検討会）のCPC件数を死亡患者数で除した割合（%）です。自院での死亡退院を対象とします。ただし、学外で病理解剖が行われた症例について、病理解剖を担当した医師を招いて実施した症例は検討症例数に含めます。					
26	新規外来患者数	19,776	21,102	20,420	%	年間
	平成２８年度1年間に新規にIDを取得し、かつ診療録を作成した患者数です。診療科単位ではなく病院全体単位で新規にIDを取得した場合が該当します。外来を経由しない入院も含みます。					
27	初回入院患者数	12,873	12,264	12,161	人	年間
	平成２８年度１年間の入院患者の内、入院日から過去１年間に自院に入院履歴がない入院患者数です。（例：平成２８年９月１日に入院した症例の場合、平成２７年９月１日～平成２８年８月３１日までの間に自院入院が無い場合を過去一年間入院なしと判断します。）診療科単位ではなく、病院全体として考え入院履歴が無い場合が該当します。保険診療、公費、労災、自動車賠償責任保険に限定し、人間ドック目的の入院は除きます。					
29	在院日数の指標	0.86	0.90	0.87		年間
	厚生労働省のDPC 評価分科会の公開データです。（該当年度内の全調査対象医療機関の全体の在院日数の平均値（１２．４３日）を、DPC毎の患者構成を該当年度の全国平均に合わせた際の医療機関別の在院日数で除した値）					
30	患者構成の指標	1.10	1.11	1.10		年間
	厚生労働省のDPC 評価分科会の公開データです。（DPC 毎の在院日数を、該当年度全国平均に合わせた際の医療機関別の在院日数を、全調査対象医療機関の全体の在院日数の平均値（１２．４３日）で除した値）					
31	指定難病患者数	－	5,272	5,268	件	年間
	年度１年間の指定難病実患者数です。指定難病は「難病の患者に対する医療等に関する法律（平成二六年法律第五〇号）」第五条第一項に規定する疾患を対象とします。（平成２８年８月１日時点で３０６疾患）。					
32	超重症児の手術件数	0	0	0	件	年間
	経年比較を可能とするために、レセプト算定ベースで算出しております。詳細は「DBC算出項目およびマスタ」シートをご覧ください。					
34	初期研修医採用人数（医科）	20	9	16	件	年間
	初期研修プログラム一年目の人数です。２年間の初期研修の一部を他病院で行う、「たすき掛けプログラム」の場合でも大学病院研修に限定せず、プログラムに採用した全体人数を計上します。他院で研修を開始する場合を含みます。 H27年度組織データ集計表：1-4シート・K列より					
35	他大学卒業の初期研修医の採用割合（医科）	55.00	55.56	68.75	%	時点
	他大学卒業の初期研修医の採用割合（%）です。					
36	専門医、認定医の新規資格取得者数	163	174	144	人	年間
	年度中に自院に在籍中（あるいは、自院の研修コースの一環として他院で研修中）に、新たに専門医または認定医の資格を取得した延べ人数です。１人の医師が２つの専門医を取得した場合は２人とします。他院の医師であっても、自院で研修して取得した場合も含みます。「ID75　専門医、認定医の新規資格取得者数（歯科）」を含めた全数になります。					
37	指導医数	194	194	232	人	時点
	６月１日時点で、医籍をおく医師のうち、臨床経験７年目以上で指導医講習会を受講した臨床研修指導医人数です。臨床研修指導医、及び臨床経験の定義は、「※医師法第十六条の二第一項にに規定する臨床研修に関する省令の施行について（厚生労働省平成１５年６月１２日）」に従います。					
38	専門研修コース（後期研修コース）の　新規採用人数（医科）	127	123	120	人	時点
	後期研修コース一年目の人数です。大学が設置したプログラムに採用した人数です。他院で研修を開始する場合を含みます。					
39	看護職員の研修受入数　（外部の医療機関などから）	399.5	199.8	158.2	人日	年間
	年度１年間の外部の医療機関などからの研修受け入れ延べ人日（人数×日数）です。外部の医療機関とは他の病院、外国、行政機関、個人とします。					
40	看護学生の受入実習学生数（自大学から）	3,384.0	3,220.8	3,304.8	人日	年間
	年度１年間の保健学科・看護学科等の自大学の実習学生延べ人日(人数×日数)です。					
41	看護学生の受入実習学生数　（自大学以外の養成教育機関から）	1,405.0	1,478.1	1,841.4	人日	年間
	年度１年間の自大学以外の養成教育機関からの実習学生延べ人日(人数×日数)です。一日体験は除きます。					

42	薬剤師の研修受入数 （外部の医療機関などから）	0.0	5.0	25.0	人日	年間
	年度1年間の外部の医療機関などからの研修受け入れ延べ人日(人数×日数)です。外部の医療機関とは他の病院、外国、行政機関、個人とします。					
43	薬学生の受入実習学生数（自大学から）	1,080.0	1,080.0	1,026.0	人日	年間
	年度1年間の自大学の実習学生延べ人日（人数×日数）です。					
44	薬学生の受入実習学生数 （自大学以外の養成教育機関から）	1,020.0	1,020.0	1,020.0	人日	年間
	年度1年間の自大学以外の養成教育機関からの実習学生延べ人日（人数×日数）です。一日体験は除きます。					
45	その他医療専門職の研修受入数 （外部の医療機関などから）	847.4	105.0	772.5	人日	年間
	年度1年間の外部の医療機関などからの研修受け入れ延べ人日（人数×日数）です。外部の医療機関とは他の病院、外国、行政機関、個人とします。その他医療専門職とは看護職員、薬剤師以外で国家資格の医療専門職（※）を指します。					
46	その他医療専門職学生の受入実習学生数 （自大学から）	3,783.5	3,604.7	3,818.0	人日	年間
	年度1年間の自大学の実習学生延べ人日（人数×日数）です。その他医療専門職とは看護職員、薬剤師以外で国家資格の医療専門職を指します。					
47	その他医療専門職学生の受入実習学生数（自大学以外の養成教育機関から）	3,155.7	3,609.2	3,477.6	人日	年間
	年度1年間の自大学以外の養成教育機関からの実習学生延べ人日（人数×日数）です。一日体験は除きます。その他医療専門職とは看護職員、薬剤師以外で国家資格の医療専門職を指します。					
49	治験の実施症例件数	210	114	193	件	年間
	実施症例件数です。登録件数ではなく、実施完了件数（※）です。※治験終了の有無を問わず、契約した治験で実施の済んだ症例数					
50	治験審査委員会・倫理委員会で審査された 自主臨床試験の件数		66	62	件	年間
	治験審査委員会・倫理審査委員会で審査された治験以外の新規臨床研究（いわゆる自主臨床研究、または自主臨床試験、と総称している）の件数です。当項目での臨床研究とは、医療法施行規則第六条の五の三第二号に該当する特定臨床研究のうち、医薬品・医療機器・再生医療等製品を用いた臨床研究（医薬品・医療機器等を用いた侵襲及び介入を伴う研究）を指します。					
51	医師主導治験件数	9	12	20	件	年間
	実施中の医師主導治験の数です。患者数ではありません。当該年度に一例も実施されなかったものは除きます。					
54	救命救急患者数	2,875	3,169	3,261	件	年間
	救命救急患者の受入数です。「救命救急患者」とは医科診療報酬点数表における、「A205 救急医療管理加算」または「A300 救命救急入院料]、「A301 特定集中治療室管理料]、「A301-2 ハイケアユニット入院医療管理料]、「A301-3 脳卒中ケアユニット入院医療管理料]、「A301-4 小児特定集中治療室管理料]、「A302 新生児特定集中治療室管理料]、「A303 総合周産期特定集中治療室管理料]を入院初日に算定した患者を指し、必ずしも救命救急センターを持たない施設でも使用できる指標とします。救急外来で死亡した患者も含みます。					
55	二次医療圏外からの外来患者の割合	22.52	22.75	23.30	%	年間
	年度1年間の自施設の当該二次医療圏外に居住する外来患者の延べ数を外来患者述べ数で除した割合（%）。二次医療圏とは、医療法第三〇条の四第二項により規定された区域を指します。「外来患者」数は延べ数としますが、その定義は、初再診料を算定した患者とし、併科受診の場合で初再診料が算定できない場合も含みます。入院中の他科外来受診は除きます。検査・画像診断目的の受診は、同日に再診料を算定しない場合に限り1人とします。住所の不明な患者は、二次医療圏内とします。					
56	公開講座等（セミナー）の主催数	316	419	334	件	年間
	年度1年間に自院が主催した市民向けおよび医療従事者向けの講演会、セミナー等の開催数です。学習目的及び啓発目的に限り、七夕のタベ、写真展等の交流目的のものは含みません。また、主として院内の医療従事者向け、入院患者向けのものも含みません。他の主催者によるセミナー等への講師参加は含みません。医療従事者向けのブラッシュアップ講座等病院主催として、病院で把握できるものは含みます。					
57	地域への医師派遣数	194	182	192	人	年間
	6月1日時点での、地域の医療を安定的に維持することを目的に、常勤医として、自院の外へ派遣している医師数です。自院の分院への派遣は含みません。同門会などからの派遣についても含めて計上します。					
59	自病院で総合窓口での患者対応が可能な言語数（日本語を除く）			5	か国語	時点
	6月1日時点での、自病院で総合窓口での患者への対応が可能な言語数（通訳業務委託，ボランティアによる通訳サービスなどを含みます）です。※中国のように北京語、広東語など複数の言語を使用する場合でも、言語数は1（中国語）でカウントしてください。					
60	院内案内の表示言語数（日本語を除く）			1	か国語	時点
	6月1日時点での、院内案内の表示言語数です。院内案内とは、案内板や看板によるものです。					
61	病院ホームページの対応言語数（日本語を除く）			1	か国語	時点
	6月1日時点での、病院ホームページ（トップページ）の対応言語数です。					
63-1	病床稼働率（一般病床）	87.00	87.60	85.80	%	年間
	年度1年間の、一般病床における病床稼働率です。					
63-2	病床稼働率（精神病床）	71.50	87.70	88.50	%	年間
	年度1年間の、精神病床における病床稼働率です。					
63-3	病床稼働率（結核病床）				%	年間
	年度1年間の、結核病床における病床稼働率です。					
64-1	平均在院日数（一般病床）	17.20	16.70	16.30	日	年間
	年度1年間の、一般病床における平均在院日数です。					
64-2	平均在院日数（精神病床）	66.20	68.80	65.10	日	年間
	年度1年間の、精神病床における平均在院日数です。					
64-3	平均在院日数（結核病床）				日	年間
	年度1年間の、結核病床における平均在院日数です。					

65-1	病床回転数（一般病床）	18.46	19.20	19.21	回	年間
	年度1年間の、一般病床における病床回転数です。					
65-2	病床回転数（精神病床）	3.94	4.67	4.96	回	年間
	年度1年間の、精神病床における病床回転数です。					
65-3	病床回転数（結核病床）				回	年間
	年度1年間の、結核病床における病床回転数です。					
66	紹介率（医科）	102.68	103.50	104.51	%	年間
	年度1年間の、医科診療科（歯科系および歯科口腔外科を除く診療科）の紹介率です。					
67	逆紹介率（医科）	59.04	54.47	53.99	%	年間
	年度1年間の、医科診療科（歯科系および歯科口腔外科を除く診療科）の逆紹介率です。					
68	一般病棟の重症度，医療・看護必要度			26.30	%	年間
	一般病棟の重症度、医療・看護必要度です。					
69	後発医薬品使用率（数量ベース）	36.00	46.50	65.10	%	年間
	1年間の入院における後発医薬品使用率です。					
70	現金収支率（病院セグメント）			100.83	%	年間
	年度1年間の、現金収支率です。					
71	業務損益収支率（病院セグメント）	104.12	106.61	103.90	%	年間
	年度1年間の、業務損益収支率です。					
72	債務償還経費占有率			10.16	%	年間
	年度1年間の、債務償還経費占有率です。					
73	院外処方せん発行率	94.50	94.50	94.70	%	年間
	年度1年間の、院外処方せん発行率です。					
74	研修指導歯科医数			38	人	年間
	年度1年間に在籍した歯科医師のうち、臨床経験7年以上で指導歯科医講習会を受講した臨床研修指導医、または臨床経験5年以上で日本歯科医学会・専門分科会の認定医・専門医の資格を有し、指導歯科医講習会を受講した臨床研修指導医の人数です。					
75	専門医，認定医の新規資格取得者数（歯科）			8	人	年間
	年度1年間に、自院に在籍中に、専門医又は認定医の資格を取得した延べ人数です。専門性をもった学術団体より与えられる専門医、認定医の新規取得者数の実数です。「ID36 専門医，認定医の新規資格取得者数」の内数になります。					
76	初期研修歯科医採用人数	39	41	49	人	年間
	6月1日時点での、初期研修歯科医採用人数です。					
77	歯科衛生士の受入実習学生数			3	人日	年間
	年度1年間の、実習受入学生の延べ人数（人数×日数）です。歯科衛生士を目指す学生の受入について、単に受入人数ではなく、延べ人数として、臨床実習に対する貢献の程度を評価します。					
78	年間延べ外来患者数（歯科）			149,580	人	年間
	年度1年間の、歯学部附属病院、統合された病院の歯科部門、歯学部のない大学病院の歯科口腔外科診療科の延べ外来受診患者数です。					
79	周術期口腔機能管理料算定数			2,429	件	年間
	年度1年間の、周術期口腔機能管理料算定件数（算定延べ数）です。					
80	歯科領域の特定疾患患者数			10,781	人	年間
	年度1年間の、歯科特定疾患療養管理料を算定した患者数（算定延べ数）です。					
81	紹介率（歯科）	81.46	81.71	86.71	%	年間
	年度1年間の、歯科系および歯科口腔外科診療科の紹介率です。					
82	逆紹介率（歯科）	23.54	25.35	25.92	%	年間
	年度1年間の、歯科系および歯科口腔外科診療科の逆紹介率です。					